

## 兵庫県高砂市におけるクロマダラソテツシジミの発生記録 -2023

島崎正美<sup>1)</sup>・島崎能子<sup>1)</sup>

暖地性のクロマダラソテツシジミ *Chilades pandava* (以下本種) が本来定着していない地域で偶発的に発生することはよく知られている。兵庫県における本種に関しては、2008年までの総括的記録が森地(2009)によって報告されていて、筆者らは2020年9月から12月まで兵庫県高砂市で偶発的発生を繰り返した本種に関する観察記録を報告している(島崎・島崎, 2021)。その後は2021年10月25日にヒメツルソバで吸蜜する後翅を破損した♀1個体が高砂市松波町の自宅周辺で観察できた(図1)が、2021年に関しては西宮市での採集記録のみみられるだけで(宇野, 2021)、どこからの飛来なのか不明のまま継続発生は見られなかった。最近になって2024年7月28日に高知県奈半利町, 8月26-28日にさいたま市, 8月28日愛媛県, 8月31日和歌山市, 9月2日長崎市など、本種の発生情報が次々とSNS (Facebook) に投稿されたことから、2023年に高砂市で二度目の一時的発生がみられた事例について報告しておくべきだと考え、以下に観察結果を記述する。

2023年, 高砂市での発生を知ったのは9月25日で、



図1. 2021年10月25日, 高砂市松波町.



図2. 2023年9月25日, 高砂高校♀が産卵.

2020年にも発生した高砂高校正門のソテツ周りを飛ぶ複数の本種を観察し、産卵場面(図2)も見られた。この観察をきっかけとして2020年に発生をみたソテツを調べて回ると高砂南高校, 高齢者養護施設: ひまわり園など数か所の発生源を確認でき、高砂南高校では複数の交尾ペア(図3)も観察できた。その後、シルビアシジミなど他のチョウ類の観察途上などでも気を配ることで2020年にはみられなかった広い範囲のソテツ群で発生していることもわかった。発生源として確認できたソテツの位置を国土地理院の地理院地図上に図示(図4)すると、2020年にはみられなかった伊保崎町や、高砂町から遠く離れた阿弥陀町市の池墓地公園内のソテツでも発生していて、本種の♀による遠距離にあるソテツさえも察知する高い能力に驚かされる。2023年に加古川市で確認できたのは図4に示す称名寺だけで、新芽のあるソテツが少なかったのか、加古川市在住の友人たちからの情報もなく詳細はわからない。2020年, 2023年共に最初の飛来源は過去に継続発生の記録がある神戸市中央区の相楽園(浅田, 2017; 浅田, 2019)だと推定するが、特定はできないままである。

2023年は産卵から幼虫時期, 蛹化などを野外観察だけにとどめて飼育はしてなく、2020年に報告をした事項に追加できる新知見は得られていない。2020年と同じく翌年になっての次世代発生が見られなかったことから、野外で蛹として越冬できた個体は皆無だったと思われる。時には最低気温が零下となる冬の時期に対する耐性が本種にはないと考えられる。2024年の奈半利町, さいたま市, 愛媛, 和歌山市, 長崎市などではいかなる

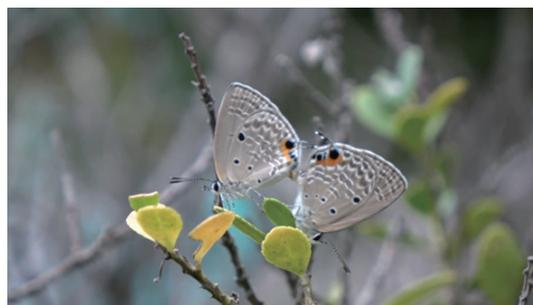


図3. 2023年10月1日, 高砂南高校交尾個体.

<sup>1)</sup> Masami SHIMAZAKI・Yoshiko SHIMAZAKI 兵庫県高砂市

経緯で一時的に発生したのかがわからないが、オガサワラシジミの絶滅回避を意図した域外累代飼育の失敗で明らかになった(中浜ほか, 2024)ように、数少ない♀による産卵から形成された群では遺伝的多様性が減少する状況となって世代をつなぐ生命力の維持はできないと推定する。

参考文献

浅田卓, 2017. 神戸市・相楽園で発生したクロマダラソテツシジミ. きべりはむし, 39(1): 69-70.  
 浅田卓, 2019. 神戸市・相楽園のクロマダラソテツシジミ 2018-2019. きべりはむし, 42(2): 12-14.  
 宇野宏樹, 2021. 2021年における兵庫県西宮市でのクロマダラソテツシジミの記録1例. きべりはむし, 44(2): 59.  
 島崎正美・島崎能子, 2021. 兵庫県高砂市におけるクロマダラソテツシジミの発生記録. きべりはむし, 41(1): 53-57.  
 中浜直之・小長谷達郎・上田昇平・平井規央・矢後勝也・矢井田友暉・丑丸敦史・井鷲裕司, 2024. 2024年7月12日. 国内で最も絶滅リスクの高いチョウ, オガサワラシジミの繁殖途絶の原因を解明—近親交配による遺伝的多様性の減少が, 繁殖の失敗につながっていた—. <https://www.um.u-tokyo.ac.jp/research/umutnews/20240712.html>  
 Naoyuki Nakahama, Tatsuro Konagaya, Shouhei Ueda, Norio Hirai, Masaya Yago, Yuki A. Yaida, Atushi

Ushimaru, Yuji Isagi, 2024. Road to extinction: Archival samples unveiled the process of inbreeding depression during artificial breeding in an almost extinct butterfly species. *Biological Conservation*, 296: 110686.

森地重博, 2009. 兵庫県における2007/2008年のクロマダラソテツシジミの記録. きべりはむし, 32(1): 4-13.



図4. 2023年, クロマダラソテツシジミの発生源ソテツの位置.